



## 育ちの芽



副園長 奥村 綾

新年度がスタートし、約2ヶ月が経ちました。

コロナ禍でも、制限のない今年度は、ふれあいデーから始まり、遠足、いちにち先生開始と、順調にスタートし、幼稚園に活気が戻ってきたことに嬉しさと喜びを感じています。

今年度初めて開催した『親子ふれあいデー』では、ふれあい体操や鬼ごっこ、玉入れ、パラバルーン、タイヤリレー、貨物列車等、各学年さまざまな内容で、親子のふれあいを楽しみました。

参加された保護者の方は、「こんなに動くとは思わなかったわー。運動会よりしんどいやん。」と言いながらも、ノリノリで体操をしたり、リレーやゲームの勝敗に一喜一憂したりしながら、笑顔で参加してくださいました。

子ども達は、一輪車や縄跳び、鉄棒やフラフープ、ペダルローラー等、自分が出来るようになったことを、おうちの方に見てもらったり、遊具と一緒に遊んだりしてとても嬉しそうにしていました。

年少組は、あいにくのお天気が続いたため、うきうきタイムはできませんでしたが、ホールで、絵の具や粘土、ままごとや大型ブロック等で、親子と一緒に遊んだり、朝の活動を見ていただいたりすることができました。園での子ども達の姿を微笑ましくご覧になっている姿が印象的でした。

### ～好奇心旺盛な子ども達～

連日暑い日が続くようになってきました。この時期は、水遊びも子ども達にとって大好きな遊びのひとつです。ホースで噴水のように水を撒くと、水のシャワーを浴びて大喜びで園庭を走り回ります。また、水溜りがあると靴や靴下が濡れることを全く気にせず、バシャバシャと入り泥遊びを始めます。たらいに水を溜めると服のまま友達と嬉しそうにしゃがみこんで、気がつくとおしりはどっぴりと水につかり、パンツまで濡れていても、気にせずに平気で遊んでいます。これは、子ども達が本来持っている、特別に強い好奇心によるものだそうです。この強い好奇心は、成長するためにとっても大切なもので、これによって子ども達は、さまざまなことを学んでいきます。子ども達の好奇心が薄れてしまわないように、園では、子どもが自主的に始めた遊びをできるだけ見守るようにしています。おうちの方々にとっては、服や靴が汚れて、毎日洗濯が大変だと思いますが、幼稚園ならではの時期ならではの遊びを、思い切り楽しんだ子ども達を『今日もいっぱい遊んで楽しんだね!』という気持ちで、温かく見守っていただけると幸いです。

### ～写真・動画撮影～

子どもの思考・探究活動を具体的に記録したり、子どもの育ちを共有したり、また、保育内容を振り返り、次の活動へ活かすこと等を目的として、先生達は保育をしながら、日々子どもの様子を撮影しています。夢中になって遊んでいる子どもの姿や、子どものつぶやきや行動を撮影し、保護者の皆さんとも育ちを共有できればと、クラスだよりや動画配信等でお知らせしています。

ただ、新学期当初は、新しい環境に慣れるまで時間がかかることもありますので、撮影することよりも、子どもとの信頼関係を築くことに重点を置いています。子どもとの関わりを大切に過ごすことを心がけていますので、撮影できる頻度はそれぞれ違います。

クラスや学年、活動内容によって配信回数が異なる事をご理解いただければと思います。

5月の園だよりも記載しましたが、私たち職員はさまざまな子どもの姿に、肯定的な言葉がけを心掛けています。保護者の皆さんは、子どもが幼稚園から帰ってきたら、幼稚園での出来事をいろいろと聞いておられますか？「幼稚園楽しかった？」「何して遊んだの？」「友達出来た？」等、次々に質問しても、子どもはうまく答えられないのではないのでしょうか。また、「先生に叱られなかった？」「誰かとケンカしなかった？」「今日は泣かなかった？」等と、否定的な質問すると、子どもは親に合わせて否定的な答えを探してしまいます。

幼稚園での子ども達の様子が気になるころだと思いますが、園で思いきり遊んだ子ども達は、心身ともに疲れていると思います。そんな子どもの気持ちを汲み取り、子どもが自分から話し始めるまで、見守っていただければと思います。

そして、「だんご虫みつけたよ」「うさぎさんのお家にはいったよ」「絵をかいたよ」「歌ったよ」等、子どもが自分から話し始めた時には、どうか興味深く耳を傾け、対話をしてあげてくださいね。また、対話のきっかけとして、先ほどのクラスだよりや動画等を活用していただき、子どもが楽しんだ様子や気持ちに共感し、肯定的に受け止めてあげてくださいね。

#### ～年長遠足～

今年度も、年長の遠足は各クラスで計画を立てました。事前にいろいろと調べたり、話し合ったりして、それぞれ行先・目的を決め実行しました。

しろ組は、五月山公園。ウォンバットがおうちの中を、あっちへこっちへよちよちと歩いている姿を見て「かわいいー。ちょっと太ってるからダイエットしてるんちゃう?!」という子や、事前に調べた動物たち（ピロティに掲示）を興味津々で観察している子もいましたが、動物よりも早く公園で遊びたい子の方が多かったのが印象的でした。

みどり組が選んだ行先は海遊館。電車での移動時間や経路から今まで行ったことがなかった場所ですが、「どうやって行くの？」の質問に、すかさず「バス！」と答えた子ども達。事前に保護者の皆さんにもご意見もうかがった上で、今回初めて大型バスを利用した遠足となりました。バスの中では、「こんな大きいバス初めて乗ったわー」「みどり組だけやでー」と特別感を味わい、道中はノリノリで歌を歌ったり、クイズをして盛り上がりました。海遊館では、大きなジンバイザメのご飯タイムを見ることができ大興奮の子ども達でした。

すみれ組は、例年年長組の遠足で利用していた万博記念公園。電車の乗り換えがあり、移動時間はかかりますが、電車内が比較的すいていて座ることが出来たため、歩くためのパワーを充電することが出来ました。初めてモノレールに乗った子は、「なんか飛んでるみたいー！」と嬉しそうにしていました。事前に太陽の塔について調べ、「顔がいくつあるか?!」や「高さは何メートル?!」の答え合わせもできました。

自分達で計画した遠足を実行することで、友達と情報を共有する力、企画する力、協働しながら探求する力等、さまざまな育ちが見られます。積み重ねてきた経験が活かされ、自信に繋がったり、達成感を味わったりすることが出来ます。

遠足に限らず、幼稚園での様々な活動には、それぞれねらいや目標があり、その中には、「こんな風に感じて欲しい」「こんな風に育ってほしい」等、担任の願いもあります。保護者の皆さんとも共有したいと、クラスだよりに記載することもありますので、目を通していただければと思います。

#### ～フマ先生と遊ぼう～

フマ先生は、目・鼻・口・肩等の体のパーツや野菜、乗り物、動物、数字等の英語を教えてくれたり『Traffic Lights Song(信号機の歌)』『Ten Little Fingers Ten Little Toes (10本の小さな指 小さなつま先)』の曲を教えてくれたりします。子ども達は、「きゅうりは英語でなんて言うの？」「じゃあモルモットは？」と質問したり、鬼ごっこをして一緒に遊んだりしています。フマ先生が大好きで、来る日を楽しみにしている子もいますよ。歌やふれあいを通して、英語に親しみ興味をもってくれるといいですね。